

今回は地下鉄「西1丁目駅」から徒歩7分。中央区地域部会のわれらが部会長、妻倉施設長の「あかり家」(就労移行支援・就労継続支援B型)にお邪魔してきました。

あかり家は、コンピュータなどを利用したデジタルコンテンツを通して、付加価値の高いサービスを提供することにより、地域の方々とともに社会に貢献することを目的として、平成14年1月に開設されました。

1 訓練内容について

現在は、横断幕やポスター、チラシやリーフレットなどを作成する「プリントサービス」、Webページ制作やデザインなどを行う「WEB制作」、印刷物の折込や紙袋作成、缶バッジ・マグネット作成を行う「軽作業」を中心として訓練を行っており、書籍などを電子化する「電子書籍業務」なども行っています。

また、「オフィストレーニング」にも力を入れており、施設内での事務補助として、電話対応・来客応対などを行うほか、実際に企業を訪問して宣伝・広報活動や商品の打ち合わせを行ったり、プリントサービス業務の納品活動などを利用者が行ったりのっています。

なお、あかり家では、毎日、職員による「朝会議」を行っており、前日の利用者の状況報告や情報共有を行うことで日々の支援につなげています。

2 様々なイベントや交流の取り組み

あかり家では、日々、様々なイベントが開催されています。毎週水曜日は「waiwaiクッキング」を開催し、利用者の皆さんでスイーツや中華料理など様々なジャンルの料理を和気あいあいと作っています。また、第2、第4水曜日の夜には「Bar Akariya」を開催し、利用者やその家族、卒業生や他の事業所の方などが幅広く参加されており、waiwaiクッキングでおつまみを作ってバーで出すこともあるそうです。さらに、第1土曜日には「Akariya Cafe」を開催し、卒業生の方も一緒に、マーシャやゲームなど、皆さんで自由に好きなことをしながら楽しく集っているそうです。



「waiwaiクッキング」のひとつコマです

これらの活動を通して、利用者にとって、仕事だけではなく、あかり家に来てホッとできるような、「またあかり家に行きたい」と思えるような、「居場所づくり」を心がけているそうです。

3 「利用者親睦会」の活動

あかり家では、利用者による親睦会の活動が活発となっており、利用者が定期的に様々な行事を企画したり、困りごとや改善点などを話し合ったりして

います。利用者親睦会は、会長、副会長、会計、運営委員などで構成され、年に1回、親睦会の総会を開催し、予算案を作成し、年間計画を立てて活動を行っています。親睦会の活動は職員がサポートに入ることもあります。基本的には利用者の自発的な、独立した活動となっています。

最後に、妻倉施設長に次のお話を伺いました。

「自分の事業所の中だけだと、閉塞感を感じたり、「自分の支援のあり方って他の方と比べてどうなんだろう?」と思ったりすることも多いと思います。中央区地域部会の定例会に参加することで、勉強にもなるし、お互いの事業所のことを知り合えたり、色々な人と相談しあえるつながりを作ったりすることができると、職員にはできるだけ参加するように声かけをしています。

あかり家では、施設の見学や相談、仕事の発注など、どのようなことでもお待ちしておりますので、お気軽に相談をいただければと思います。」



豊平公園で行った「親睦会」の写真です

てく Take ちゅう Walking 47

『お仕事拝見!』

〈連絡先〉〒060-0063 札幌市中央区南3条西10丁目1001-5 福山南3条ビル7階
NPO法人 障がい者就労支援の会 あかり家
電話 011-2800-8752
FAX 011-2800-8751